

第2学年 国語科学習指導案

児童 2年2組 男17名 女15名
 指導者 荒木田 早 月

育てたい主となる能力(基礎・基本)

- ・易しい読み物に興味をもち、読むこと。 (読 ア)
- ・場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと。 (読 ウ)

- 1 単元名 ようすを考えて読もう
 教材名 お手紙

2 子どもと単元について

- (1) 子どもたちは、2年生の導入単元「ふきのとう」の学習において、登場人物の会話文を視写したり、登場人物になりきって後に続く言葉を吹き出しに書いたり、動作化を取り入れた役割読みをしたりする活動を通して、楽しく想像を広げながら読む学習を行ってきた。また、「スイミー」の学習では、スイミーの気持ちや場面の様子を想像して自由に発表し交流する活動や音読を発表する活動、さらに発展読書として同一作者の作品を数多く読む活動を行った。読んだ本の中から気に入った本を選び、簡単な感想をカードに書いて紹介し合い、子どもたちのカードをつないで「お話れっしゃ」を完成させた。このような学習を通して、子どもたちは自分なりに想像を広げ、登場人物になりきって楽しみながら声に出して読んだり、吹き出しに書いたりすることができるようになってきている。また、友だちの紹介した読み物にも興味をもって楽しんで読むようになってきている。読書量の差はあるもののレオ＝レオニの作品はほとんどの子どもたちが手に取り、楽しんで読み進めていた。

子どもたちの多くは、読書や読み聞かせを大変好み、週に2回の朝読書に集中して取り組んでいる。全体的に絵本を中心に読む子が多いが、数日かけて長い物語を読むようになってきた子も何人か見られるようになってきている。

- (2) 本単元「ようすを考えて読もう」は、場面の様子やがまくんとかえるくんの心情について想像を広げながら読むと同時に、読書の場を多くもち、想像を広げながら読む楽しさを味わうこと、さらに本の紹介をし合うことにより、いっそう進んで読書をしようとする態度を育てることをねらいとしている。

本教材「お手紙」は、ちょっぴりわがままで、自分勝手ながまくんと、一生懸命相手に優しい言葉をかけるかえるくんのほのぼのとした友情の姿を描いている。来るあてのない「手紙」を待つがまくんと、そのがまくんの心を知り、内緒で「手紙」を書くかえるくん。両者を強く温かく結ぶものは、相手を思いやる素朴な友情である。相手の悲しみを自分の悲しみとし、相手の善意を素直に喜び、その喜びを自分の喜びとして、幸せな気持ちに浸る姿に、二人の温かい友情がかもし出されている。挿し絵や会話が豊富な作品であるため、子どもたちは非常に親しみやすく、それらを効果的に活用することによって、登場人物に共感し、想像を広げながら読みを進めていくことができると思われる。さらに、教材文からアーノルド＝ローベルの作品や友情がテーマの作品に読みを広げたり、好きなお話を紹介したりする場を設けることで、楽しんで読書をしようとする態度も育てていくことができると思われる。

- (3) 本単元では、基礎・基本の定着を図るために、想像を広げながら楽しんで読むことと自分の気に入った本を友だちに紹介するという領域の特性を生かした言語活動を行う。

- ・挿し絵や会話文からがまくんとかえるくんの様子や心の交流について想像を広げながら読む。(「深める」段階)
- ・「お手紙」の中から好きな場面を選び音読発表をし、感想を交流する。(「交流する」段階)
- ・「ともだち」シリーズの読み聞かせを聞く。(「広げる」段階)
- ・「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べて読む。(「広げる」段階)
- ・友だちに関する本を読んで気に入った本を選び、紹介カード(お話れっしゃ)を作って紹介し合う。(「広げる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては、下記の5つの言語意識を明確にする。

相手意識	学級の友達に
目的意識	自分の好きな本を紹介するために
場面・状況意識	紹介カードを作る。
方法意識	自分の好きな本を選び、一言感想を紹介カードに書く。
評価意識	友だちが読みたくなるような紹介カードが書けたか自己評価したり、互いに交流し合いながら相互評価をしたりする。

《読書との関連》

本単元では、読書との関連を以下のように図っていく。

初めに、ブックトラックにアーノルド＝ローベルコーナーを設置し、「見通す」段階では、「ふたり」シリーズのブックトークを行い、並行読書への意欲をもたせるようにする。さらに、「深める」段階では、お気に入りの度合いを確かめたり、お話の内容を記入したりできる「ふたり」シリーズのブックリストを作成し、がまくんとかえるくんの人物像やお話の世界、さらに友情についての読みを広げながら読書を進めていくことができるようにする。そして、「広げる」段階での発展読書として、「ともだち」シリーズをブックトラックに加え、ブックトークをしたり、読み聞かせを行ったりすることで読書への意欲を喚起したいと考える。また、朝読書や休み時間などいつでも本を手にとってみるように読書環境を整え、お気に入りの作品や友だちに紹介したい作品を見付けやすいようにする。ブックトラックには以下の作品を用意する。

【ブックトラックに用意した本のリスト】 アーノルド＝ローベルの作品

番号	書名	訳者名	出版社
	「ふたり」シリーズ	三木 卓	文化出版局
1	ふたりはともだち	三木 卓	文化出版局
2	ふたりはいっしょ	三木 卓	文化出版局
3	ふたりはいつも	三木 卓	文化出版局
4	ふたりはきょうも	三木 卓	文化出版局

【ブックトラックに用意した本のリスト】 友だちに関する作品

番号	書名	作者名	出版社
	「おれたち、ともだち」シリーズ	内田 麟太郎	偕成社
1	ともだちや	内田 麟太郎	偕成社
2	ともだち くるかな	内田 麟太郎	偕成社
3	あしたも ともだち	内田 麟太郎	偕成社
4	ごめんね ともだち	内田 麟太郎	偕成社
5	ともだち ひきとりや	内田 麟太郎	偕成社
6	ありがとう ともだち	内田 麟太郎	偕成社

ここで身に付けた「易しい読み物に興味をもち、読む力」は、国語科での感想交流やおもしろいところや興味をもったところを紹介する活動に生かすことができる。また、学習した教材の同一作家の本や同じようなジャンルの本を読もうとする意欲にもつながっていく。他にも他教科、他領域で詳しく知りたいと思ったことに関連する本を進んで読もうとしたり、楽しんで読書をしたりしようとする態度を育てることができる。「場面の様子などについて、想像を広げながら読む力」は、国語科の文学的文章の学習において、あらすじを押さえ、場面ごとに想像を広げながら読み取る活動に生かすことができる。さらに、場面を想像豊かに思い描きながら読み取ることによって、読書意欲や表現意欲を高めることにつながっていく。

3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	物語を読むことに関心をもち、進んで場面の様子などについて想像しながら読もうとする。	・登場人物の行動や会話文に着目し、場面の様子や人物の気持ちについて想像を広げながら読もうとしている。 ・「ふたり」シリーズや「ともだち」に関するお話を進んで読み、感想をもとうとしている。
読む能力	場面の様子などについて登場人物の行動や気持ちを想像しながら読むことができる。 (読 ウ) 読みたいと思う本を選び、進んで読むことができる。 (読 ア)	・場面ごとの様子について想像を広げたり、会話文から登場人物の気持ちを想像したりしながら読んでいる。 ・「ふたり」シリーズや「ともだち」に関する本から読みたいと思う本を選び読んでいる。
言語についての 知識・理解・技能	文の中における主語と述語の関係に注意して読むことができる。(言工 (ア))	・「だれが—どうする」という主語と述語の関係に注意して読んでいる。

4 学習指導計画及び評価規準

15時間(読15)

過程	学習内容と主な学習活動	評価規準 評価方法		
		国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	単元のねらいを知り、学習の見通しをもつこと ・ブックトークを聞く。 ・お話ししゃを作ることを知る。 ・漢字と語句の練習をする。 1時	意欲的に学習の見通しをとらえようとしている。 <態度>	学習の見通しをとらえている。 <ノート>	漢字や語句について理解している。 <ノート>
	あらすじをとらえ、感想をもつこと ・教材文や挿し絵をもとにあらすじをとらえ、感想をもつ。 2時	教材文や挿し絵をもとに、進んであらすじをつかみ、感想をもとうとしている。 <態度>	あらすじをとらえながら、おもしろかったところや好きなところを見付けている。 <ノート>	「だれが—どうした」のかに注意して読んでいる。 <発言・ノート>
深 め る	悲しい気分である二人の様子を想像すること ・二人が悲しんでいる理由を想像する。 1時	二人が悲しんでいる理由や様子を、読み取るうとしている。 <発言・態度>	二人が悲しんでいる理由をとらえ、悲しんでいる様子について想像を広げながら読んでいる。 <発言・ノート>	「だれが—どうした」のかに注意して読んでいる。 <発言・ノート>
	かえるくんががまくんにしてあげた心遣いを想像すること ・大急ぎで手紙を書き、かたむりくんに託すかえるくんの優しい心遣いを想像する。 2時	かえるくんの優しさが分かる行動を読み取るうとしている。 <発言・態度>	かえるくんの優しさが分かる言動から想像を広げながら読んでいる。 <発言・ノート>	「だれが—どうした」のかに注意して読んでいる。 <発言・ノート>
	手紙の到着が待ち切れないかえるくと、悲観的になっているがまくんの様子を想像すること ・二人の会話から二人の気持ちや様子を想像する。 3時	手紙の到着が待ち切れないかえるくと、悲観的になっているがまくんの様子を読み取るうとしている。 <発言・態度>	二人の言動や気持ちを対比的にとらえ、二人の様子について想像を広げながら読んでいる。 <発言・ノート>	「だれが—どうした」のかに注意して読んでいる。 <発言・ノート>

深 め る	<p>幸せな気持ちで座っている二人の様子を想像すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人が幸せな気持ちになった理由を考え、二人の様子を想像する。 <p>4時</p>	<p>二人が幸せな気持ちになった理由を読み取ろうとしている。</p> <p><発言・態度></p>	<p>二人が幸せな気持ちになった理由をとらえ、その様子について想像を広げながら読んでいく。</p> <p><発言・ノート></p>	<p>「だれがーどうした」のかに注意して読んでいる。</p> <p><発言・ノート></p>
確 か め る	<p>手紙が届いたときの二人の様子を想像し、感想をもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙をもらったがまくんの喜びとその喜びを自分の喜びにするかえる君の気持ちを想像する。 <p>1時</p>	<p>手紙が届いたときの二人の喜びを読み取ろうとしている。</p> <p><発言・態度></p>	<p>手紙が届いたときの二人の様子について想像を広げながら読んでいく。</p> <p><発言・ノート></p>	<p>「だれがーどうした」のかに注意して読んでいる。</p> <p><発言・ノート></p>
交 流 す る	<p>気に入った場面を選び、会話文の読み方に気を付けて音読の練習をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ間でアドバイスし合い読み方を工夫する。 <p>1時</p>	<p>気に入った場面の登場人物の気持ちや行動を考え、読み方を工夫しようとしている。</p> <p><音読練習></p>	<p>友だちのアドバイスをもとに気に入った場面の登場人物の行動や気持ちを考え、読み方を工夫している。</p> <p><音読></p>	<p>姿勢や口形に気を付けて、はっきりとした発音で音読している。</p> <p><音読></p>
	<p>音読発表をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで音読発表を聞き合い感想を交流し合う。 <p>2時</p>	<p>登場人物の行動や気持ちを考えて音読しようしたり、友達の発表を進んで聞こうとしたりしている。</p> <p><発表></p>	<p>自分が伝えたい場面を選び、登場人物の行動や気持ちを考えて音読している。</p> <p><音読></p>	<p>姿勢や口形に気を付けて、はっきりとした発音で音読している。</p> <p><音読></p>
広 げ る	<p>友だちに関する本の紹介を聞き、本に興味をもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ともだち」シリーズの本の読み聞かせを聞く。 ・好きなところを見付けながら感想をもつ。 <p>1時</p>	<p>本の紹介を聞き、友だちに関する本を進んで読もうとしている。</p> <p><態度></p>	<p>好きなところを見付けながら読んでいる。</p> <p><感想></p>	<p>「だれがーどうしたのか」に注意して読んでいる。</p> <p><発言・ノート></p>
	<p>友だちに関する本を読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふたり」シリーズと「ともだち」シリーズの本を読み進める。 <p>2・3時</p>	<p>いろいろなお話を進んで読もうとしている。</p> <p><態度></p>	<p>「ふたり」シリーズと「ともだち」シリーズから本を選び、感想をもちながら楽しく読んでいる。</p> <p><読書の様子・ノート></p>	<p>「だれがーどうしたのか」に注意して読んでいる。</p> <p><発言・ノート></p>
	<p>「お手紙」と「ありがとう ともだち」の似ているところを見付けること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気に入った場面を比較しながら、似ているところを見付ける。 <p>本時 4時</p>	<p>「お手紙」と「ありがとう ともだち」の似ているところを進んで見付けようとしている。</p> <p><態度></p>	<p>「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べながら、似ているところを見付けている。</p> <p><発言・ハンドサイン></p>	<p>「だれがーどうしたのか」に注意しながら、姿勢や口形に気を付けて話している。</p> <p><発言></p>
	<p>選んだ本の紹介カードを書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介カードを書く。 <p>5時</p>	<p>選んだ本の好きなところやおもしろいところをカードに進んで書こうとしている。</p> <p><カード></p>	<p>選んだ本の好きなところやおもしろいところを分かりやすくカードに書いている。</p> <p><カード></p>	<p>句読点の打ち方や助詞の使い方に気を付けて書いている。</p> <p><カード></p>
	<p>カードを紹介し合い、お話しを作ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを紹介し合い、みんなのカードをつなげてお話しを作ります。 <p>6時</p>	<p>読み合ったカードをお話しにしようとしてこれからは読書に親しもうとしている。</p> <p><態度・表情></p>	<p>グループの中でカードを交換し楽しく読み合っている。</p> <p><態度・表情></p>	<p>漢字や言葉に気を付けて読んでいる。</p> <p><態度></p>

5 本時の指導

(1) ねらい

「お手紙」と「ありがとう ともだち」の似ているところを進んで見付けようとしている。

「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べながら、似ているところを見付けることができる。

(2) 展開

前時までの学習	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちに関する本を読むこと <p>言語活動</p> <p>「ふたり」シリーズと「ともだち」シリーズから本を選び、感想をもちながら楽しく読む。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む活動に時間のかかる子には、読み聞かせを行うようにする。 ・物語を読み、好きなところや心に残るところを見付け、題名と簡単な感想を書くことができるようにする。 		
過程	学習内容・学習活動	形態	<p>・支援 「主発問」 評価 <評価方法></p>
課題をつかむ	<p>1 前時の学習を想起すること (2分)</p> <p>2 本時の学習課題を確認すること (1分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">2つのお話をくらべてみよう。</div>	全	<p>・前時の学習で「ともだち」シリーズの本を読み進めたり、もう一度「ふたり」シリーズを読んだりしたことを確認し、振り返ることができるようにする。</p> <p>・「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べながら、似ているところを見付けていくことを確認し、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>学習課題を把握し、意欲をもって本時の学習に取り組もうとしているか。</p> <p style="text-align: right;"><表情></p>
二つのお話を比べて似ているところを見付ける	<p>3 「お手紙」と「ありがとう ともだち」の話の大体を確認すること</p> <p>(1) 挿し絵バラバラ事件を解決する。 (10分)</p> <p>4 学習課題を解決すること</p> <p>(1) 「ありがとう ともだち」を読んで、好きなところについて一人学びをする。 (10分)</p> <p>(2) 一人学びをしたことを基にしながら、好きなところを交流する。 (10分)</p>	全 個 全	<p>「ばらばらになっている挿し絵をお話の順序にならべましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順序がばらばらになった挿し絵を、正しい順序に並び替えることで「お手紙」と「ありがとう ともだち」のあらすじを確認できるようにする。 ・挿し絵に合わせていくつかの会話文を提示し、それらを音読することによって、登場人物の人柄を押さえたり、友だちとの関わりについてのお話であることに気付いたりできるようにする。 <p>「『ありがとう ともだち』の好きなところを見付けましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなところを見付けたら、サイドラインを引くようにする。 ・サイドラインを引いたところを簡単にまとめてノートに書き、その理由も考えて書くことができるようにする。 <p>「好きなところを発表しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなところについて、叙述を基に確認できるようにする。 ・お互いの考えを聞き合い、自分が見付けたところと共通することや感じ方の違いについて交流できるようにする。

<p>二つのお話を比べて似ているところを見付ける</p>	<p>(3) 「お手紙」と「ありがとうともだち」を比べて、似ているところを見付ける。 (10分)</p>	<p>全</p>	<p>「『お手紙』と『ありがとうともだち』のどんなところが似ているでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」と「ありがとうともだち」のお話の内容や好きなところを比べながら、似ているところを見付けることができるようにする。 ・「お手紙」では「親愛なる」「いいお手紙だ」「ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。」などの文を手がかりにして考えることができるようにする。 ・「ありがとうともだち」では、「ごめんな、キツネ。カジキがつれなくて」「ぼくたちうみづりにきたんでしょ。それでうみがつれたじゃない。」「きょうはてんこもりのうみをありがとう」などの文を手がかりにして考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 「お手紙」と「ありがとうともだち」の2つの話を比べながら、似ているところを見付け、その理由を考えている。</p> <p>B 「お手紙」と「ありがとうともだち」の2つの話を比べながら、似ているところを見付けている。</p> <p>C への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの話の会話文や登場人物の様子に着目し、あらすじを確認しながら、似ているところを見付けられるように手助けをする。 ・似ているところを見付けにくい時は、友だちの考えを基にして、気付くことができるように助言する。 <発言・ハンドサイン> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に交流し合い、どちらのお話も友だちとの関わりや優しさについて書いてあるところが似ているということに気付くことができるようにする。 ・どちらのお話も「ともだち」がテーマになっていることを確認できるようにする。
<p>まとめ</p>	<p>5 学習を振り返ること (1) 自己評価をする。(1分)</p> <p>6 次時の学習内容を確認すること (1分)</p>	<p>個 全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、満足感・成就感をもつことができるようにする。 <p>「お手紙」と「ありがとうともだち」の似ているところを進んで見付けようとしていたか。 <態度・自己評価></p> <p>「お手紙」と「ありがとうともだち」の2つの話を比べながら、似ているところを見付けていたか。 <発言・ハンドサイン></p>
<p>次時の学習</p>	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本の紹介カードを書くこと <p>言語活動</p> <p>選んだ本の好きなところやおもしろいところを分かりやすくカードに書く。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本のあらすじを確かめながら、好きなところやおもしろいところを見付けることができるようにする。 		

<p>二つのお話を比べながら似ているところを見付ける</p>	<p>(3)「お手紙」と「ありがとう ともだち」を比べて、似ているところを見付ける。 (10分)</p>	<p>全</p>	<p>「『お手紙』と『ありがとう ともだち』のどんなところが似ているでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」と「ありがとう ともだち」のお話の内容や好きなところを比べながら、似ているところを見付けることができるようにする。 ・「お手紙」では「親愛なる」「いいお手紙だ」「ふたりとも、とてもあわせな気もちで、そこにすわっていました。」などの文を手がかりにして考えることができるようにする。 ・「ありがとう ともだち」では、「ごめんな、キツネ。カジキがつれなくて」「ぼくたちうみづりにきたんでしょ。それで うみがつれたじゃない。」「きょうは てんこもりのうみをありがとう」などの文を手がかりにして考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べながら、似ているところを見付け、その理由を考えている。</p> <p>B「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べながら、似ているところを見付けている。</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのお話の会話文や登場人物の様子に着目し、あらすじを確認しながら、似ているところを見付けられるように手助けをする。 ・似ているところを見付けにくい時は、友だちの考えを基にして、気付くことができるように助言する。 <発言・ハンドサイン> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に交流し合い、どちらのお話も友だちとの関わりや優しさについて書いてあるところが似ているということに気付くことができるようにする。 ・どちらのお話も「ともだち」がテーマになっていることを確認できるようにする。
<p>まとめ</p>	<p>5 学習を振り返ること (1)自己評価をする。(1分)</p> <p>6 次時の学習内容を確認すること (1分)</p>	<p>個 全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、満足感・成就感をもつことができるようにする。 <p>「お手紙」と「ありがとう ともだち」の似ているところを進んで見付けようとしていたか。 <態度・自己評価></p> <p>「お手紙」と「ありがとう ともだち」の2つのお話を比べながら、似ているところを見付けていたか。 <発言・ハンドサイン></p>
<p>次時の学習</p>	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本の紹介カードを書くこと <p>言語活動</p> <p>選んだ本の好きなところやおもしろいところを分かりやすくカードに書く。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本のあらすじを確かめながら、好きなところやおもしろいところを見付けることができるようにする。 		